

「釧路湿原二百花選」制作・刊行事業

釧路武佐の会 会長 大西 英一

1 事業概要

事業の経緯、実施状況

1) 事業の狙い

日本を代表する「釧路湿原」が国立公園に指定されて以来 30 余年、この間、熱心なナチュラリスト・旅行者の訪問は 1500 万人を超えている。日本の原風景・広大な水平景観・多様な生物群の宝庫と、評価され注目を浴びながら、概説書は発行されたものの、身近に触れられる植物の解説書はなかった。

そこで、半世紀近く湿原に関わってきた我々グループが、「氷期の遺存種」を含めた 700 種余りの植物たちとの「インタープリター」として、「湿原の花と語ろう」を合い言葉に、新しい植物分類体系（APG～）に準拠した資料を作成し、湿原を訪れる希望者に配布し湿原の植物理解の一助にしていだければと願っている。

2) 制作のコンセプト・・・「湿原の花と語ろう」

掲載写真

a 散策中に目立つ「花」200 種に焦点を当てる。

（特に注目される樹木・果実も採択する）

b 写真は、研究者にも対応できるよう生態的にも「語れる」精密さを求める。

（携帯冊子となるため写真は小形でも「ルーペ」にも耐えられる精細さを）

c コース別に分ける。

(特に温根内コースを重点を置き、他は地域で特殊な植物を中心に撮影)

d 植物写真の選定は、グループ員の過去の写真も含め(約2万カット) 足らずは令和元年・2年で追撮影する。

解説他

a 配布対象者が広範囲に及ぶため、解説は40字以内とする。

(用語については別に図解をする)

(解説には・科名・漢名・花の季節・生態型・雌雄関係・特徴を欠かさず、記号を用いる場合もある。)

b 「花」写真は、コース別に、花の色別に分ける。

(冊子を持って木道を散策する際は、ゲーム感覚でチェックできるように。)

3) 配布とその効果

a 小学生高学年、冊子利用で「発見ゲーム・名あてゲーム・冊子以外の植物発見ゲーム・他」

b 中学・高校生、冊子利用で「氷期の遺存種・生態型・雌雄関係と種の保存」

c 特殊な高校・大学生、冊子利用と「その奥に秘められた生存のための努力・温暖化の影響と生態系・フランキア菌との共生他」

d 一般・旅行者、冊子利用と「湿原の生態系の奥深さ・他」

釧路湿原 二百花選



- ・温根内コース（木道・鶴居軌道跡・サテライト下・遺跡道）
- ・遠古武木道・細岡 周辺
- ・塘路湖畔・サルボ・コッタロ岬・キラコタン岬 周辺

釧路自然再発見グループ・釧路武佐の森の会
— 2021年刊 —

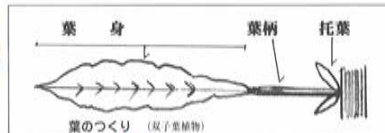


この小冊子は（一財）前田一步園財団の補助金によるものです。
 協賛・協力 釧路開発建設部・温根内ビジターセンター・NPO法人釧路湿原やちの会・COOP未来の森づくり基金・環境コンサルタント・太平洋総合コンサルタント・東邦コンサルタント・(株)ライアブル・(株)三宝商会・釧路公園緑化協会・株藤プリント
 * 高嶋八千代・佐々木浩・戸巻光義

制作 ○大西英一・○藤澤慎一・高谷秀子・中村好和・中村保子
 杉村典史・平間慶春



7



8